

福岡都市圏南部環境事業組合建設検討委員会
第1回経営手法専門部会 会議概要

1.開催日時	平成20年10月9日(木) 18:00~19:50
2.開催場所	福岡市役所14階 1404会議室
3.出席者	(1)経営手法専門部会(正副部会長以外は五十音順) 浦邊真郎部会長、小出秀雄副部会長、岩崎正義委員、最所憲治委員
	(2)オブザーバー 福岡市 : 計画課課長 他2名 春日市 : 環境課長 他1名 太宰府市 : 環境課長 那珂川町 : 環境防災課長
4.欠席者	なし
5.議題	議題1 経営手法専門部会長・副部会長の選任について 議題2 審議内容及びスケジュールについて 議題3 対象事業の基本条件について 検討対象とする事業方式について 基本条件について 事業資金について リスクについて

議題1 経営手法専門部会長・副部会長の選任について
部会長は浦邊真郎委員、副部会長は小出秀雄委員に決定

議題2 審議内容及びスケジュールについて
<p>【事務局説明】</p> <p>当部会では、従来型の公設公営手法に加え、民間活力の活用等を含む整備手法について、法律・金融・経済・エンジニアリング(廃棄物)の分野の専門的な見地から調査検討を行い、当組合に最も適した施設の建設・運営手法についての提言を行う。スケジュールは下記のとおり。</p> <p>第1回【H20.10.9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討対象とする事業方式について ・基本条件について ・事業資金について ・リスクについて

第2回【H20.12月】

- ・それぞれの事業方式における公共及び民間の役割分担、リスクの分担
- ・従来方式（公設公営）における建設費・運営費・維持管理費の設定
- ・民間活力を活用した整備手法における建設費・運営費・維持管理費の設定
- ・VFM算出のプロセス

第3回【H21.2月】

- ・事業方式ごとのVFMの検証
- ・定量分析及び定性分析
- ・事業方式についての総合評価

第4回【H21年度上旬】

- ・中間処理施設処理方式、計画ごみ量、施設規模の決定等を受け、再度事業手法について検証

議題3 対象事業の基本条件について

【協議内容】

「従来型公共事業・民間委託・DB・DBO・PFI・第三セクター」の中から、当組合に最も適した事業方式について検討を行う。またPFIには複数の事業方式があるが、近年一般廃棄物処理施設で採用されている事業方式を調査し、当組合に適用可能な事業方式の抽出を行う。

福岡市の施設で行っている民間委託（アウトソーシング）を基本に従来方式における建設・維持管理費・運営（PSC）を設定し、PFIと比較する。

25年間という事業期間は、PFIを適用するには、設定が長すぎる。PFIを事業手法として検討対象とするには、事業期間のギャップの検討を要する。

今後、高効率発電を行う中間処理施設への交付金の交付率が1/3から1/2へ変更される可能性があるため、評価の際、考慮する必要がある。

重要なリスク分担については、要求水準書や契約条項に近い文面で明確にしておく必要がある。

その他

次回開催は、12月24日（水）13：30～